

中小企業景況調査結果(平成26年7~9月期)

中小企業の業況は、小幅な低下状況にある。

山口商工会議所では、管内中小企業100社を対象に景況調査を実施し、このほど平成26年7~9月期実績と平成26年10~12月期見通しについての調査結果(回答数90社、回答率90%)をまとめた。本調査は3ヶ月毎に年4回行う。

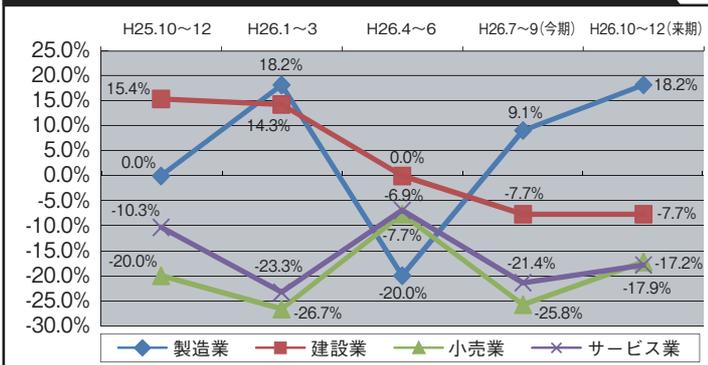
全業種のDI値に見る業況判断動向を前期と比較すると、前期▲15%→▲16%とマイナス幅がわずかながら拡大し、2期連続のマイナスとなった。前期が5期ぶりのマイナスとなっていることから、消費税増税後の落込みが長引いていることや、夏季の天候不順の影響があったものと見られる。10~12月期の見通しについては、改善する見込みである。

経営上の問題点については、全業種が依然として需要の停滞を挙げており、今期も解消されていない。また、今期は、原材料、材料等の仕入単価等の上昇を問題点としてあげる企業と、製品販売単価、請負単価等の低下・上昇難を問題点としてあげる企業が多く見られ、新たな経営上の問題点が浮き彫りとなってきた。

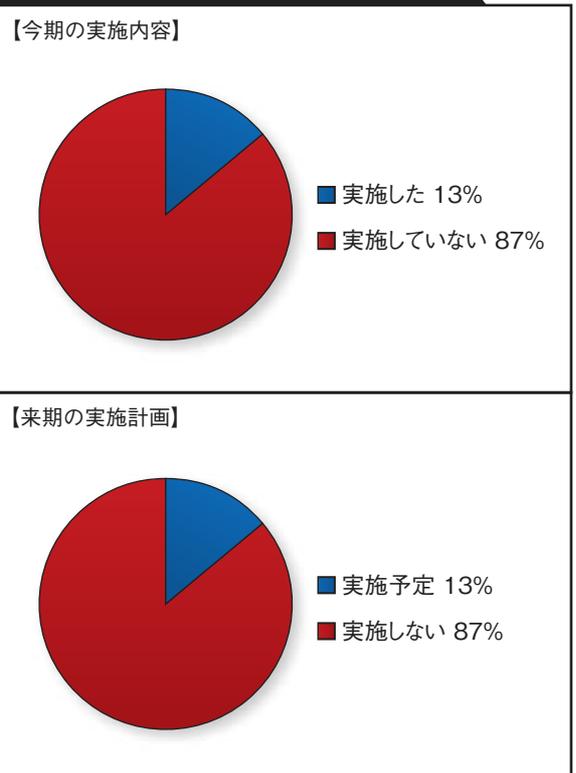
◆業況DI値(今期の状況)

	業況判断	前回調査比	売上	前回調査比	資金繰り	前回調査比	仕入単価	前回調査比	経常利益	前回調査比	従業員数	前回調査比
全産業	-16%	↘	-20%	↘	-12%	↘	22%	↘	-13%	↗	-5%	↗
製造業	9%	↘	17%	↗	-8%	↘	55%	↘	0%	↗	-10%	↗
建設業	-8%	↘	-8%	↘	-15%	↘	23%	↘	-23%	↘	0%	→
小売業	-26%	↗	-32%	↘	-16%	↗	23%	↗	-23%	↗	3%	↗
サービス業	-21%	↘	-25%	↗	-8%	↘	4%	↘	0%	↗	-11%	↘

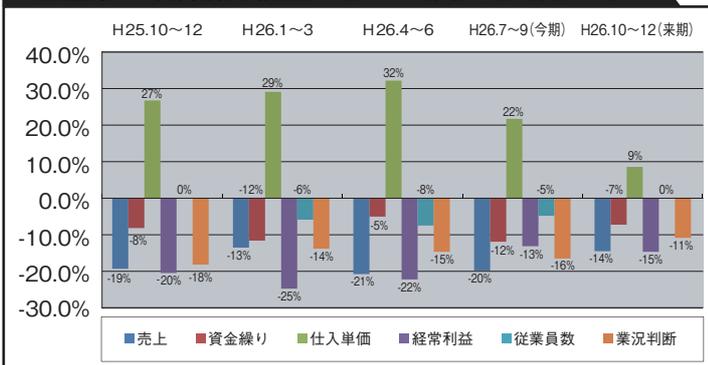
◆産業別業況判断DI(前3期からの推移と来期見通し)



◆新規設備投資(今期実施・来期計画)



◆全産業DI項目別比較(前3期からの推移と来期見通し)



◆経営上の問題点

	製造業	建設業	小売業	サービス業
1位	原材料価格の上昇 25.0%	民間需要の停滞 18.4%	需要の停滞 17.6%	利用者ニーズの変化への対応 13.1%
2位	需要の停滞 21.0%	官公需要の停滞 13.2%	購買力の他地域への流出 16.2%	店舗施設の狭小・老朽化 11.5%
3位	製品(加工)単価の低下・上昇難 16.7%	請負単価の低下・上昇難 10.5%	人件費の増加 1.4%	材料等仕入単価の上昇 9.8%

※DIとは、ディフュージョン・インデックス(景気動向指数)の略で、各調査項目についての増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。